

質問 国枝議員（自民 揖斐郡）令和8年7月1日（水）

1 今後の県政運営について

（1）新たな総合戦略（仮称）とその実現に向けた行財政運営について

①新たな総合戦略（仮称）の策定について

答弁 知事

新たな総合戦略は、今後10年間の本県を取り巻く課題を整理し、その解決に向けて、向こう5年間の政策の方向性を示すものであり、岐阜県の未来を左右する大変重要な計画でございます。

「県民の安全・安心の確保」と「人やモノが集まり、夢と誇りを持てる『ワクワク』する岐阜県の未来」を実現するため、取り組むべき課題や、必要となるサービスは何かなど、県民の皆様の期待にお応えできる戦略にしたいと考えております。

今回の「総合戦略」は、県民の皆様と共に「岐阜県の未来」を創ることを意識して、戦略の骨子案を作成する前の段階から、様々な手法で幅広く県民の皆様の意見をお聞きすることといたしました。

その一つとして、今年の5月下旬から県ホームページで広く意見をいただくことを始めております。通常計画では、戦略骨子などの内容を固めてからパブリックコメントによって県民の皆様のご意見をお聞きするところですが、今回は、極めて早い段階から「未来はこんな岐阜県にしたい」という率直な思いをお伺いしているところがございます。

また、先日、国勢調査の結果が発表されましたが、本県では、人口減少に歯止めをかけることができておりません。とりわけ、若者の県外流出が大きな要因であり、未来の主役となる若者の意見に幅広く耳を傾けていく必要があると考えております。このため、小学生から高校生まで約600名からなる「こども若者県政モニター」や、私が直接意見交換する「若者未来デザイン会議」なども活用しながら、若者の率直な意見をお聞きしてまいります。

さらに、市町村に対しては、地域を俯瞰する立場である市町村長を総合企画部長が訪問するとともに、課長クラスの方々と圏域別の会議を開催し、県の現地機関の職員と一緒に、各地域の課題についてお伺いしているところがございます。

これらに加えまして、各種団体や産業界などについては、文書での照会を始め、既存の会議を活用するなど全部局を挙げてご意見をお伺いしているところがございます。

こうした取組を通じて頂戴した様々なご意見を整理し、改めて有識者会議の「岐阜県未来戦略会議」にお諮りし、9月に骨子案、11月に素案、来年2月に最終案をとり

まとめ、その都度県議会の皆様にもご意見をお聞きしながら、来年3月議会での議決を目指してまいります。

ちなみに、これまでに頂いたご意見では、「安心して暮らせる」、「誰もが活躍できる」、「災害に負けない」岐阜県を期待している声が多く寄せられておりますが、これに加えて、「誇りが持てる県」といった声も聞かれたところでございます。

実際のところ、岐阜県には数多くの魅力があり、「人やモノが集まる岐阜県」を実現するには、材料は十分揃っていると考えています。しかしながらそこに住む私たちが、あまり認識していないか、むしろ「何も無い」と思っていることこそが重大な課題だと感じております。

今回の改定では、岐阜県の持つ魅力を十分に引き出し、「人やモノが集まる岐阜県」を構築するための政策を、どう県民の皆様に分かりやすくお示しし、「安心とワクワク」に溢れる戦略に練り上げていくかが重要であると考えております。

今現在も各方面からご意見をお伺いしており、県民の皆様の夢や希望、課題などに丁寧な耳を傾け、まずは9月の骨子案に向けて、鋭意作業を進めてまいります。

担 当 課 総合政策課

電話番号 058-272-1840

メー ル c11122@pref.gifu.lg.jp

1 今後の県政運営について

(1) 新たな合戦略（仮称）とその実現に向けた行財政運営について

②今後の行財政運営方針について

答弁 知事

新たな総合戦略の実現には、その基盤となる行財政運営をいかに行うかが重要でございます。これは議員ご指摘のとおりでございます。このため、今回の戦略の策定に合わせて、行財政運営の方針も明確にしていきたいと思いますと考えております。

繰り返しになりますが、今後の県政運営にあたっては、「県民の安全・安心の確保」と「人やモノが集まり、未来に夢と誇りを持てる『ワクワク』の創出」に向けて、10年後の未来を見据えながら、制度や施策を見直していきたいと思います。

既存の施策を見直す際には、現在の施策によってどのような県民サービスが実現されており、それが本来の目的に叶ったものになっているのか、そして、今以上のサービスを実現するために、他にどのような選択肢があるのかについて、民間サービスの実態や技術進歩なども勘案し、柔軟な発想のもとで、県民の安心とワクワクを実現する政策を追求していきたいと思います。

その上で、現在の施策に要する費用や将来負担の見通しなどを勘案し、国費の獲得や民間の資金・ノウハウの導入を積極的に進め、厳しい財政状況の中にあっても、やるべきことを着実に実行していきたいと思います。これらの取組により、「県民サービスの維持・向上」と「財政の持続可能性の確保」の両立を目指していきたいと思います。

県有施設につきましても、こうした考え方の下、県民にとってより効果的で満足度の高いサービスをどのように提供できるかという観点から、施設が担うべき役割や、提供するサービスの内容・手法などを検討していきたいと思いますと考えております。

具体的な進め方ですが、まず、社会情勢の変化等を踏まえ、今後、県民の皆様にご提供すべきサービスの姿、すなわち「目指すべき姿」を検討します。それに向かって、各施設の現状をデータ等から分析し、課題を抽出した上で、より良い県民サービスを実現する手法を「サービスの担い手・手法」、そして「コスト」、さらには「実現可能性」といった視点で幅広く検討していきたいと思います。

その結果、例えば、「県が所有し、直接運営することが最善の施設」につきましては、適切な維持保全の実施、集約化・複合化等による最適配置・規模の見直しなど、「維持保全・最適化」を検討していきたいと思います。

また、「民間活力の導入によりサービスの向上が見込まれる施設」につきましては、外部資金の獲得による事業拡充、指定管理者の裁量の拡大、民間主体による管理・運営など、「民間等の活用」を検討していきたいと思います。

さらに、施設の状況によっては、他の用途も視野に入れつつ、より有効な活用方法を検討していきたいと思います。

なお、これらの検討に際しては、必要に応じて外部有識者の意見を聴取するとともに、県民、関係者の声を丁寧に伺いながら進めてまいります。

担 当 課 財政課、管財課

電話番号 (財) 058-272-1130

(管) 058-272-1149

メー ル (財) c11105@pref.gifu.lg.jp

(管) c11116@pref.gifu.lg.jp

1 今後の県政運営について

(2) 岐阜県政策顧問任命の狙いについて

答弁 知事

本県が目指します「安心」と「ワクワク」にあふれ、「人やモノが集まる岐阜県」の実現に向けては、外部の専門的な知識や実績を積極的に取り入れつつ、県政を推進していくことが有効と考えております。

このため、豊富な経験と確かな実績を持ち、高く評価されている方々を、政策顧問として任命することとしたところでございます。

そうした観点から、まずは県政運営上の重要課題であります「財政」、そして、「まちづくり」、さらには、「教育」の3つの分野について、先達となられる方々の知恵と経験をお借りしてまいりたいと考えております。

なお、こうした制度が固定化することのないよう、それぞれ任期を1年とし、政策の進捗に応じて見直しを行うこととしております。

次にそれぞれの顧問に期待する役割と成果ですが、まず、「財政」についてお答えします。危機的な財政状況にあっても、県民の安全・安心を確保しつつ、ワクワクする未来への投資に必要な経費について、知恵と工夫を最大限に生かし、国費や民間資金を積極的に確保することで、「県民サービスの維持・向上」と「財政の持続可能性の確保」を両立することが必要というのは先ほど申し上げたところでございます。

財政政策顧問の宇留賀氏でございますが、群馬県副知事として当時厳しい状況にありました県の財政を数年間で立て直したという実績をお持ちであり、特に、国費の活用や民間資金の導入、企業誘致など、様々な分野における豊富な知見や経験をお持ちであることから、岐阜県財政の健全化に向けたご助言をいただきたいと考えております。

次に、「まちづくり」についてお答えします。現在、県では、岐阜圏域の活力あるまちづくりを推進するため、その実現に向けた一つ的手段として、新たな交通システムの導入について検討を進めているところでございます。

まちづくり政策顧問の矢野氏でございますが、公共交通を生かした街づくりの成功例として今や全国的に注目を集める「宇都宮ライトライン」の整備に、発案当初から実現まで実に25年にわたって携わっておられた方でございます。多くの反対意見に丁寧に対応し、様々な課題をクリアしながら見事な成功を実現された矢野顧問には、専門的知見と先進的な実務経験を踏まえ、本県で検討を進めております新たな交通システムをはじめ、様々なまちづくり施策について、ご意見やご助言をいただきたいと考えております。

最後に、「教育」についてお答えいたします。教育は「国家百年の計」と言われながら、急速な少子化が進行するなか、全国で35万人もの児童生徒が不登校になっている

現状に鑑みれば、教育が大きな岐路に差しかかっていることは明らかでございます。

子どもたちの健やかな成長を支えるとともに、将来社会を支える一員となる子どもたちが、学ぶ力、生きる力を育む環境を整えることは、本県が取り組むべき重要な政策課題であると考えております。

教育政策顧問の山内氏は、名古屋市立山吹小学校の校長として、子どもが自ら計画を立てて学習を進める「自由進度学習」や異学年集団による「協働的な学び」など、全国的にも注目される先進的な取組を実践し、着実に実績を上げられてこられた方でございます。

山内顧問の現場感覚に裏打ちされた高い見識と豊富な経験に基づき、本県が進めます「異学年集団による学び合い」をはじめ、子どもたちの豊かな人間性を育む教育が推進されるようご助言をいただくことを期待しているところでございます。

なお、これら3つの分野以外にも、県政が直面する課題は多岐にわたります。今後も、社会経済情勢の変化や新たなニーズなどを踏まえながら、必要に応じて顧問を設置し、県政の推進に生かしてまいりたいと考えております。

担 当 課	財政課、都市政策課、教育総務課
電話番号	(財) 058-272-1130 (都) 058-272-8649 (教) 058-272-8729
メ ー ル	(財) c11105@pref.gifu.lg.jp (都) c11654@pref.gifu.lg.jp (教) c17765@pref.gifu.lg.jp

1 今後の県政運営について

(3) 副知事人事について

答弁 知事

副知事は、知事とともに県政全般の業務を主導し、部局を指導監督しながら、同じ目標に向かって県政を推進するという大切な役割を担うポストであり、その人選は極めて重要でございます。

二人目の副知事となります候補の選定に当たりましては、まずは、議員ご指摘のとおり、国とのパイプ役をしっかりと果たし、国に対する政策提案ができるとともに、補正予算も含め国からの予算獲得といった対応に長けていることが求められますが、その上で今回特に重視しましたのは、岐阜県のことを良く知り、大切に思っただけの方であるという点でございます。

これらの観点で検討を重ね、農林水産省の国枝玄氏を選任することとしたものでございます。きっとお近くだと思いますけども。

まず、政策的な面で申し上げます、当面続くと思われる不安定な国際情勢や、南海トラフ地震などへの備えという観点からも、食料やエネルギーを自給できる体制を整えておくことは、県民の安全、安心のためには極めて重要でございます。特に、日本の中央に位置し、山岳地帯から平野まで広大な県土を有している岐阜県だからこそ、県民のみならず日本全体にとっても果たすべき役割は大きいと考えております。

そうした取組を進める上で、国枝氏は、農林水産省に籍を置き、フランス留学や経済協力開発機構、OECD でございますが、の日本政府代表部勤務等の海外経験も豊富で、しかも現在コメの安定供給など、国の重要政策の中心的役割を担っておられ、大きな力になっていただけるものと考えております。

さらに、岐阜県では、小水力に加え、バイオコークスなど地域資源を生かした再生可能エネルギーの創出・活用の促進といった、環境エネルギー政策を推進することとしており、そのためには山林における所有者不明土地問題の早期解消も必要となります。国での豊富な行政知見を生かし、岐阜県から国に法制度の見直しを提案するなど、力を発揮していただきたいと考えております。

これらに加え、国枝氏は岐阜県池田町の出身であり、ふるさと岐阜県のことをとても大切に思ったださる方でございます。ちなみに、昨年度は、岐阜県瑞浪市の観光戦略策定にもご尽力いただいていたと聞いております。その情熱を今後は副知事として、県政全般に注いでいただきたいと思っるところでございます。

今回、議会のご同意を頂ければ、これまでの副知事の欠員は解消し、二名体制となります。ご指摘のとおり、二人とも農業政策に精通しており、その知見や経験を生かしながら、県内の農畜水産業の実情をしっかりと踏まえた上で、国内はもちろん、海外をも視野に入れたビジネスモデルを構築することで、農畜水産業を若者にも人気のあ

る成長産業に発展させることを期待しているところでございます。

現在県が進めております「アグリパーク構想」や「バイオコークス」など、岐阜県のポテンシャルを最大限に生かせる布陣であると確信しております。

今後、二人の副知事が連携しながら、その知見や経験を存分に発揮し、より良い県政が実現できるよう努めてまいります。

担 当 課 人事課

電話番号 058-272-1135

メ ー ル c11102@pref.gifu.lg.jp